

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科											
ビジネストレーニング2											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	杉山直樹			実務 経験	有	職種	プログラマー				
授業概要											
プログラミング教育の必修化を受けて、実務で通用するEXCEL活用法とマクロVBコーディングを通じて、今後の社会人にとって不可欠な論理的思考能力・問題解決能力を向上します											
到達目標											
就職活動や卒業後の社会人として必要最低限のITスキル（実務EXCEL、プログラミング基礎）を習得し、コンピュータ的な論理思考能力向上とエンドユーザーを意識した実務レベルの帳票作成スキルの習得することを目標としています。											
授業方法											
提出物50%、小テスト30%、平常点20%											
成績評価方法											
ステップアップ方式の授業展開のため、欠席した場合はプリントを受け取り、次回までに補講することが必要になります。また、提出課題は自宅、または放課後解放などを利用して提出しなければなりません。4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。											
履修上の注意											
就職活動や卒業後の社会などに関わる要素が多いため、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
配布プリント											
回数	授業計画										
第1回	JEITAアルゴリズムの解説と初心者問題(Jr)を使用しての使用法理解。										
第2回	チャレンジ問題（入門編）7問の解説して実施。クリアした問題をフローチャート化して、フローチャート記述法を理解する。										
第3回	チャレンジ問題（初級編）1-7問の解説して実施。クリアした問題をフローチャート化、VBコーディングにて置き換えて提出する。										

第4回	チャレンジ問題（初級編）8-14問の解説して実施。クリアした問題をフローチャート化、VBコーディングにて置き換えて提出する。
第5回	チャレンジ問題（中級編）1-7問の解説して実施。クリアした問題をフローチャート化、VBコーディングにて置き換えて提出する。
第6回	チャレンジ問題（中級編）8-14問の解説して実施。クリアした問題をフローチャート化、VBコーディングにて置き換えて提出する。
第7回	4名チームを作成し、チャレンジ問題（上級編）1-4問の解説して実施。クリアした問題をフローチャート化、VBコーディングにて置き換えて提出する。
第8回	4名チームを作成し、チャレンジ問題（上級編）5-8問の解説して実施。クリアした問題をフローチャート化、VBコーディングにて置き換えて提出する。
第9回	4名チームを作成し、チャレンジ問題（上級編）9-14問の解説して実施。クリアした問題をフローチャート化、VBコーディングにて置き換えて提出する。
第10回	アルゴリズム2の解説と順次処理を使用するの理解。VBコーディングにて置き換えて提出する。
第11回	繰り返し処理問題1-4の解説して実施。クリアした問題をフローチャート化、VBコーディングにて置き換えて提出する。
第12回	分岐処理問題1-4の解説して実施。クリアした問題をフローチャート化、VBコーディングにて置き換えて提出する。
第13回	4名チームを作成し、応用問題1：1-4の解説して実施。クリアした問題をフローチャート化して、提出する。
第14回	4名チームを作成し、応用問題2：1-4の解説して実施。クリアした問題をフローチャート化して、提出する。
第15回	4名チームを作成し、応用問題3：1-4の解説して実施。クリアした問題をフローチャート化して、提出する。